Pioneer

施工説明書

A-IW001

インウォールアンプ

施工される方へのお願い

■ 施工工事の前に、この説明書をお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- 施工工事完了後、機器のがたつきや漏電などの安全上の不具合がないことを確認してください。
- 施工工事で発生した廃棄物は、廃棄物処理法等の法令に従って行ってください。
- 本施工説明書および別冊の取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。
- 万一、施工説明書に従わず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。
- 取扱説明書の裏表紙にある保証書に必ず必要事項を記入してください。

■ 次のような場所には設置しないでください。（火災・感電、故障等の原因になります。）

- 極端に寒い場所・暑い場所
  ・冷・暖房の近くや、直接日光のあたる場所
- 直接湯気のかかる場所
  ・湿気の多い場所（浴室、地下室、温室など）
- ゴミやホコリの多い場所
- 水や雨のかかる場所
  ・キッチン、浴室、屋外など
  ・感電の原因になります。
- 硫化水素の発生する場所
  ・温泉地など
  ・寿命が短くなることがあります。

■ 施工上のご注意

- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 近くに高出力の無線局などがあると音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- 近くに強い磁気を発生するものがあると音声が乱れる場合がありますので、注意してください。
- 配線を照明などの電灯線、また電話回線などに束ねて配線することは避けてください。音声が乱れる場合があります。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- 配線はアンプ裏面の端子接続図を参照のうえ、正しく接続してください。
- メンテナンスの際に本体を簡単に取り外せるように余裕を持って配線してください。

設置後は 12 ページの「設置後に必ず行っていただきたいこと」にお進みください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
ご使用の前にこの『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。

図記号について

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

⚠	△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
⃠	⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
❗	●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

⚠ 警告	
	絶対に分解したり、修理・改造しない。 感電の原因となります。
	開口から内部に物を入れない。 火災、感電の原因となります。
	水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（浴室など）には設置しない。 感電の原因となります。
	本体は絶対に開けない。 感電の原因となります。
	小勢力端子に AC100 V 用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。
	専用のスピーカー以外を接続しない。
❗	必ず電源（AC100 V）を切った状態で施工する。 活線工事は感電や故障の原因となります。
❗	AC100 V 用電源は確実に差し込む。 押し込みが不十分な場合、発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因となります。
❗	万一、異常が発生したら電源スイッチを切る。 切らないと、発熱・火災の原因となります。

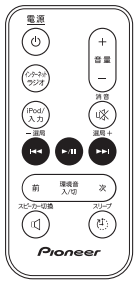
⚠ 注意	
❗	配線は正しく行う。 ショートや誤配線は、火災や機器の故障の原因となります。
❗	ネジの締め付けトルクは守る。 締めすぎて壁、金具、ネジを傷めないように注意してください。
❗	電源を入れる前に、誤配線、ショートがないことを確認する。 火災、感電の原因となることがあります。
❗	基板、線材を傷つけないでください。 故障の原因となります。

部品の確認

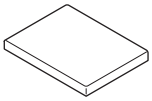
■ 同梱品

お客様へお渡しする部品

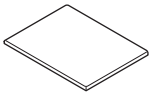
- リモコン× 1



- スペーサ（厚）× 1



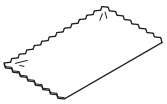
- スペーサ（薄）× 1



- 取扱説明書

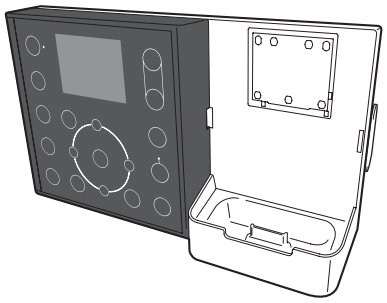
- 電池（CR2025）× 1

- お手入れ用クロス× 1

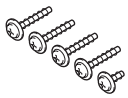


施工工事に使用する部品

- アンプ本体× 1

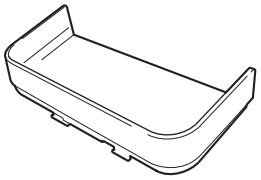


- アンプ固定ビスセット
  （長ビス 4 本、短ビス 1 本）

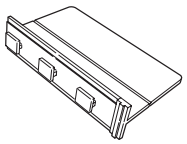


- アンプ固定ビスセット（予備）
  （長ビス 1 本、短ビス 1 本）
  ※ アンプ固定ビスを紛失したときにお使いください。

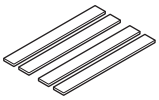
- ドックカバー× 1



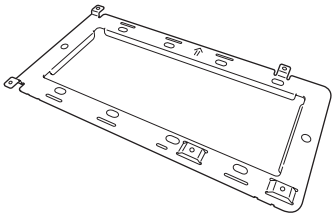
- セパレータ× 1



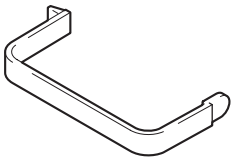
- スペーサー× 4



- 取付金具× 1
  ※アンプ本体の背面に取り付けてあります。

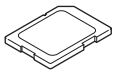


- ガード× 1

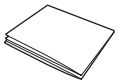


- パッキン（長 2 本、短 2 本）

- SD カード（環境音入り）× 1



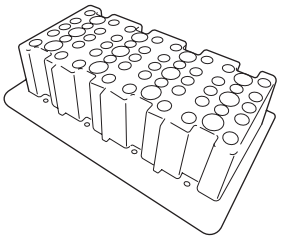
- クイックガイド× 1
  ※「iPod を再生してみよう」と「環境音を再生してみよう」が両面印刷されています。



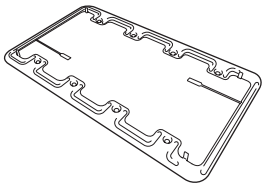
- テープ（クイックガイド貼り付け用）
- 施工説明書（本書）

■ その他必要部材（施工工事用）

① 気密カバー（4 ヶ用）× 1
（品番：SBY-4UA）
未来工業（株）製



② 石膏ボード用取付押え金具 *（4 連用）× 1
（9 ～ 30 mm 壁用）（品番：WN3999）
パナソニック電工（株）製
* 以下「はさみ金具」とする



③ ワンタッチコネクタ× 3
（品番：WF-2（222-412））
ワゴジャパン（株）製

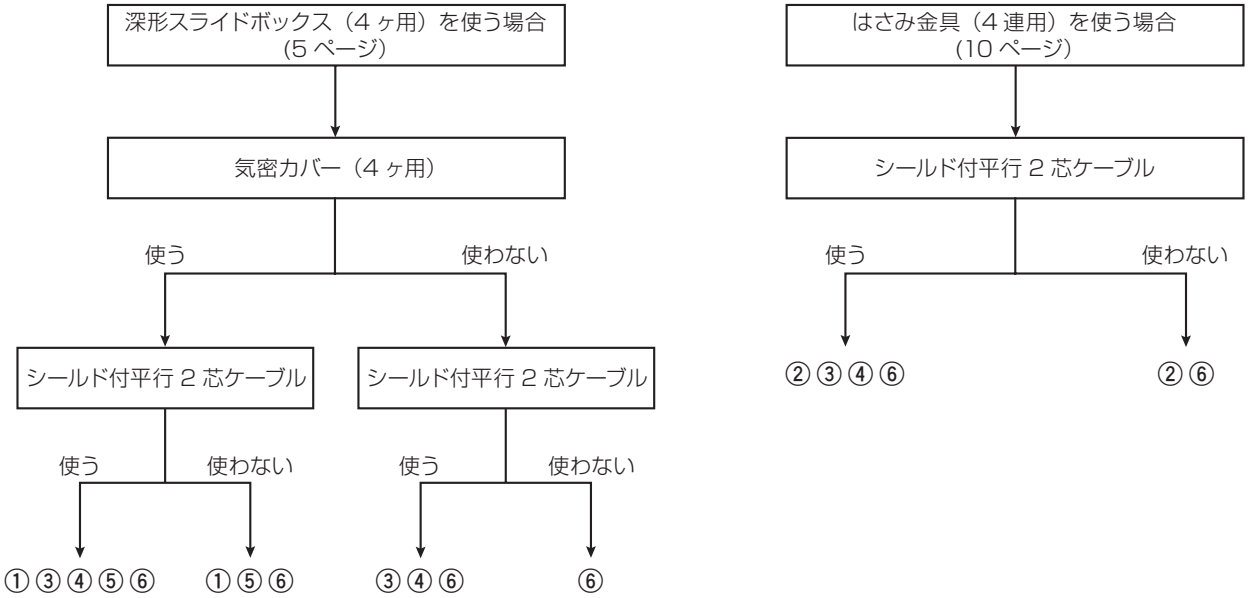
④ 中継用警報ケーブル AE0.65 × 3C

⑤ 気密テープ
全天テープ（品番：No.693）または相当品
日東電工（株）製

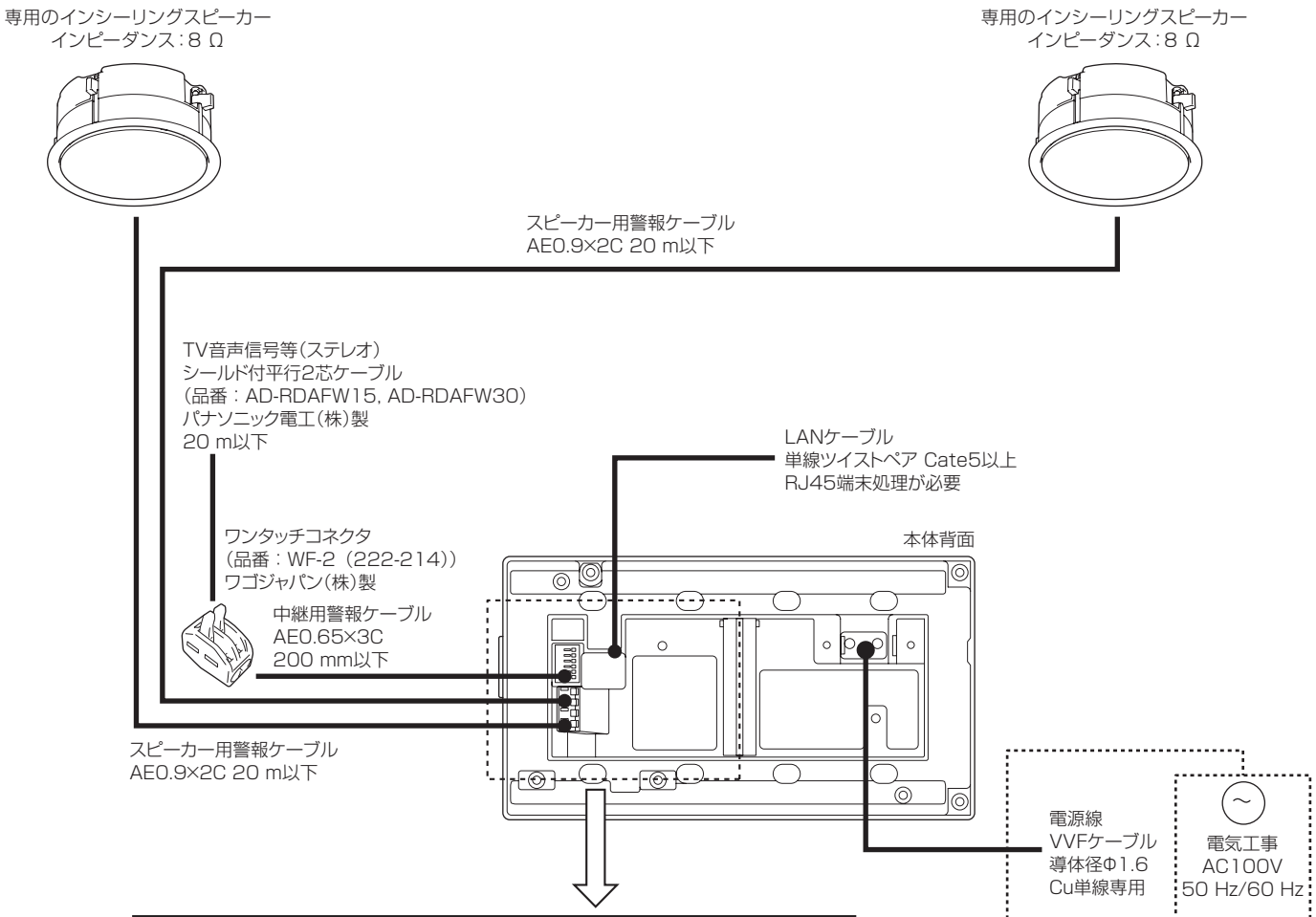
⑥ RJ45 モジュラープラグ× 1
（市販のブーツ付き以外）

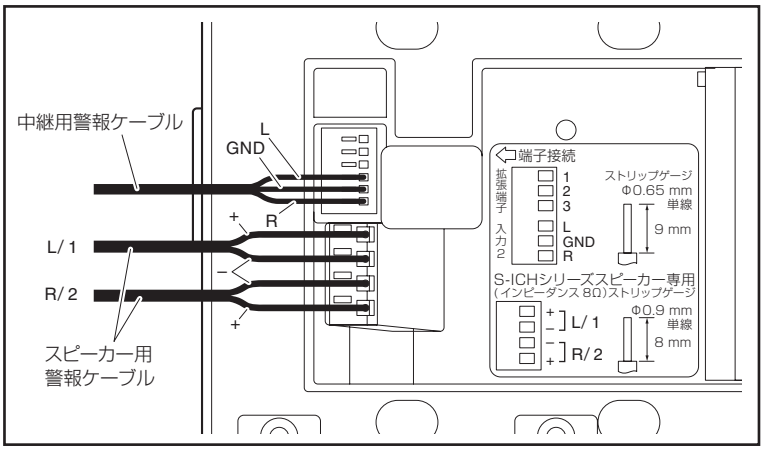
上記の部材は市販品であり、同梱しておりません。施工方法によって必要部材が異なりますので、下記フローに従ってご購入ください。

必要部材の確認



全体の配線図





※ スピーカー用警報ケーブルとアンプ側の出力端子の L、R および極性（+、−）を全 CH とも正しく接続してください。（L↔L、R↔R）（+↔+、−↔−）
間違って接続すると、正常なステレオ効果が得られなくなります。

※ 中継用警報ケーブルとアンプ側の入力端子の L、R および GND を正しく接続してください。（L↔L、R↔R、GND↔GND）
間違って接続すると、正常なステレオ効果が得られなくなります。

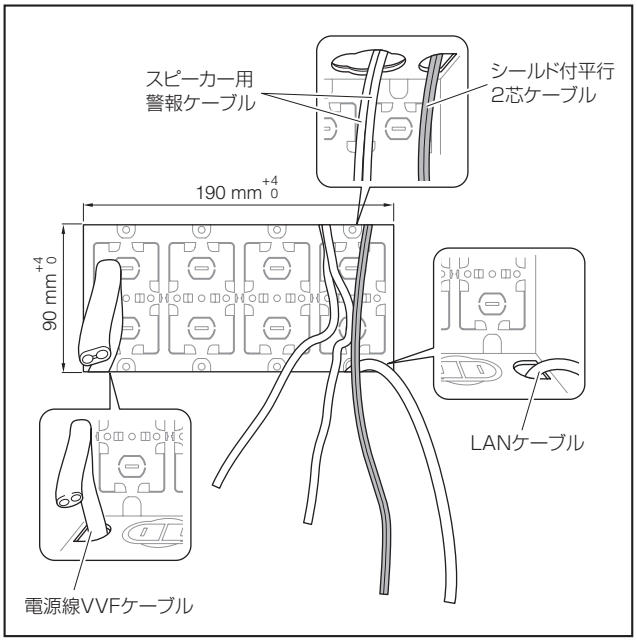
施工方法

■深形スライドボックス (4 ヶ用)
(品番：SBY-4W、未来工業（株）製）を使用する場合

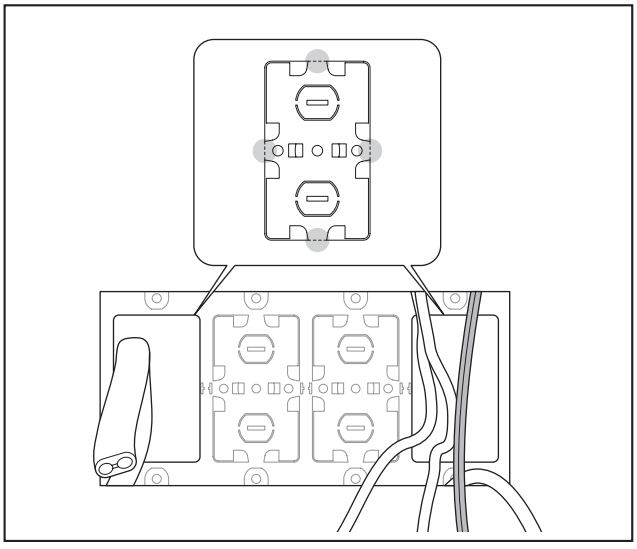
1 壁に四角い穴※をあけ、必要なケーブル類を出し、深形スライドボックスの適切な穴からケーブルが出ていることを確認する

柱には、すでに深形スライドボックス (4 ヶ用) が取り付いています。

※ 外装箱に印刷されているテンプレートをお使いになると四角い穴の形状を描くことができます。詳しくは 11 ページの「テンプレートの使いかた」をご覧ください。



2 8 カ所をニッパで切り取る

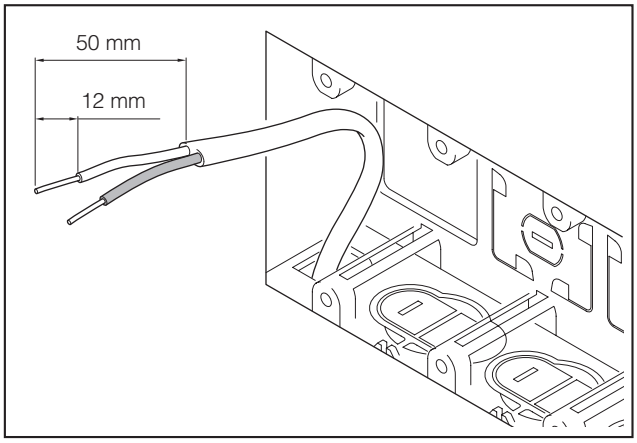


ご注意

- 切り取った部分にバリが残らないようにしてください。
  バリが残っていると、線材の被覆を傷つけ、発火、感電の危険があります。

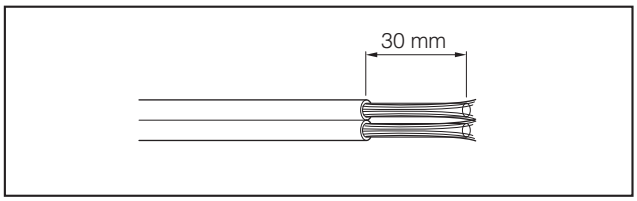
3 各線材の末端処理を行う

- 電源線 VVF ケーブルの末端処理方法

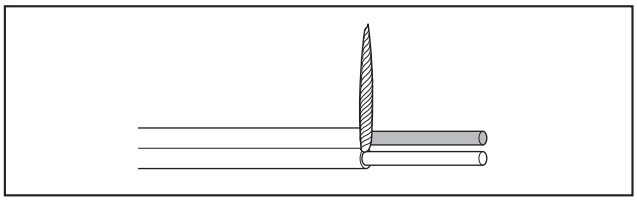


- シールド付平行 2 芯ケーブルの末端処理方法

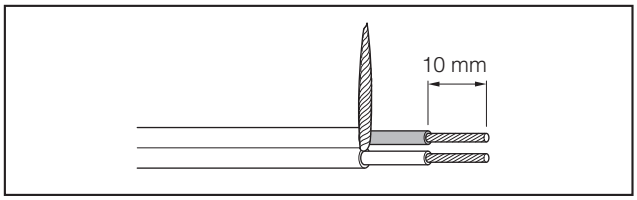
① 外被覆を 30 mm とる



② 両方のシールド線を 1 本のより線にする

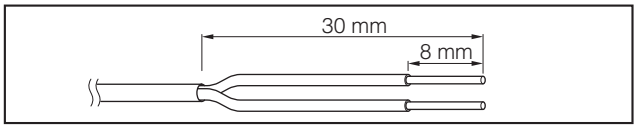


③ 外被覆を 10 mm とり、よじる

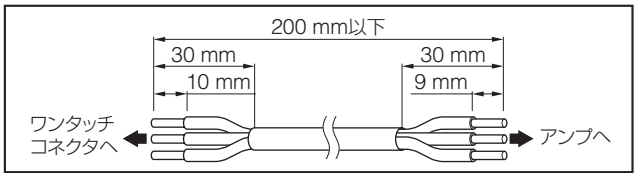


※ ②、③ でひげが発生しないようにしてください。ひげがあるとショートして、性能上問題が発生する可能性があります。

- スピーカ用警報ケーブル (2 本) AE0.9 × 2C の末端処理方法

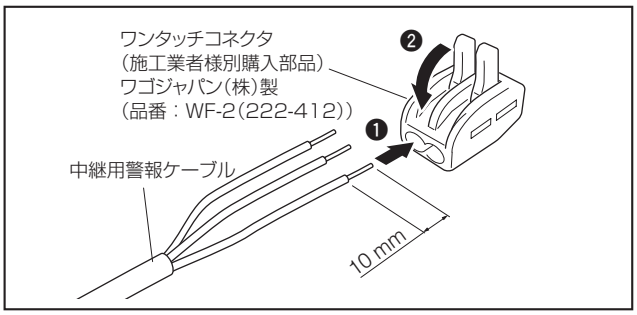


- 中継用警報ケーブル（1 本）AE0.65 × 3C の末端処理方法

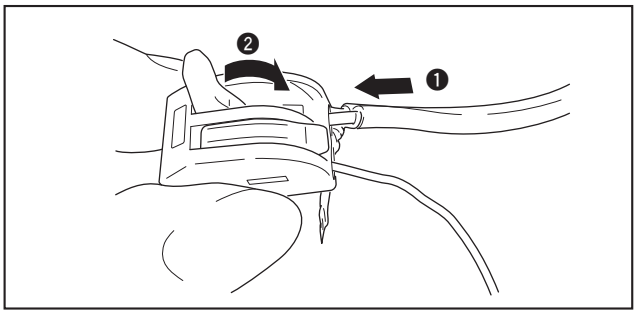


- シールド付平行２芯ケーブルと中継用警報ケーブルをワンタッチコネクタで接続する（３個）

① ワンタッチコネクタに中継用警報ケーブルを挿し込みロックする



② 中継用警報ケーブルを接続したワンタッチコネクタにシールド付平行２芯ケーブルを挿し込みロックする



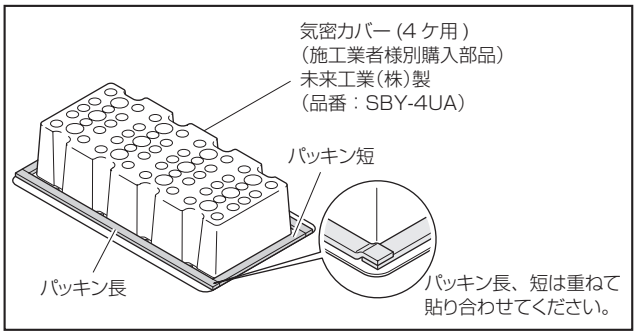
⚠注意

配線は正しく行う。
ショートや誤配線は、火災や機器の故障の原因となります。

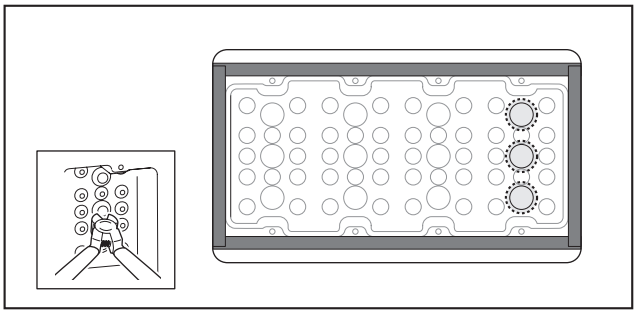
4 気密カバーを処理する

気密カバーを使用すると高い気密性能を発揮することができます。気密性能が必要ない場合、気密カバーは不要です。
気密カバーを使う場合：手順 5 と手順 6 は不要です。
気密カバーを使わない場合：手順 4 は不要です。

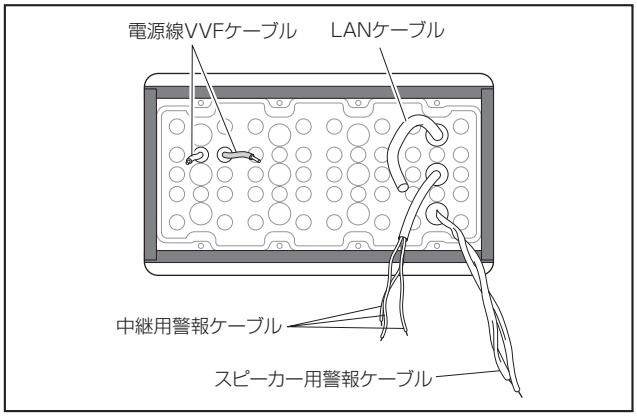
① 気密カバーにパッキン長、パッキン短を各２個貼付する



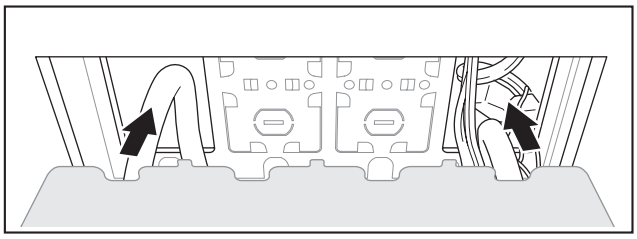
② 気密カバーの突起部をニッパで３カ所カットする



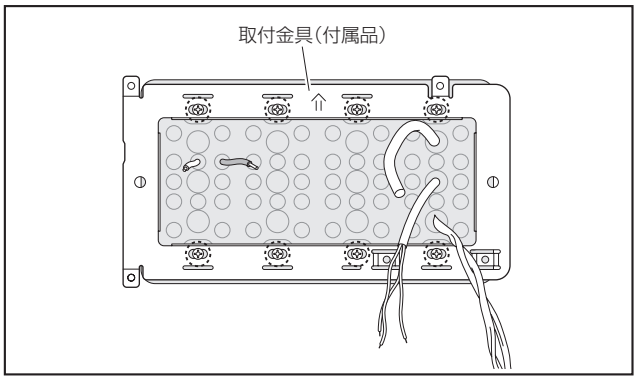
③ 電源線 VVF ケーブル：下図の気密カバーの位置に直接突き差す
④ その他のケーブル：下図のようにニッパでカットした穴より差し込む



⑤ 電源線 VVF ケーブルおよびワンタッチコネクタの余長をスライドボックスのカットした穴から逃がす



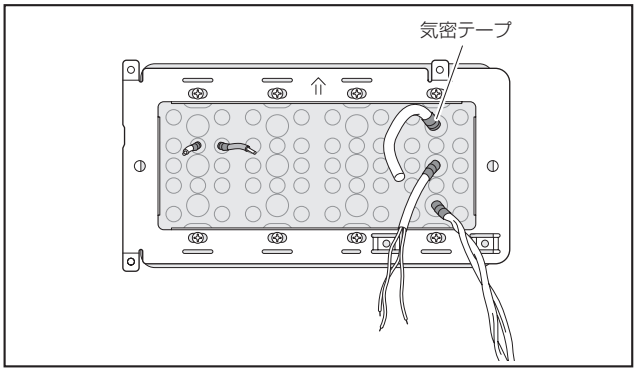
⑥ 取付金具に刻印してある矢印の向きに合わせてから、取付金具を取り付け、トルク 0.39 N・m でビス締め（８個）する
※ ビスは深形スライドボックス(４ヶ用)内に取り付いています。



⚠警告

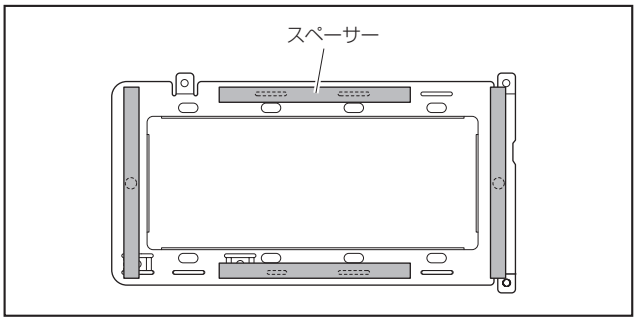
ネジの締め付けトルクは守る。
締めすぎて壁、金具、ネジを傷めないように注意してください。

⑦ 気密テープ（日東電工（株）製全天テープ No.693 または相当品）で線材の根元をテープ留めする（テープサイズ　W×D=10 mm × 50 mm）

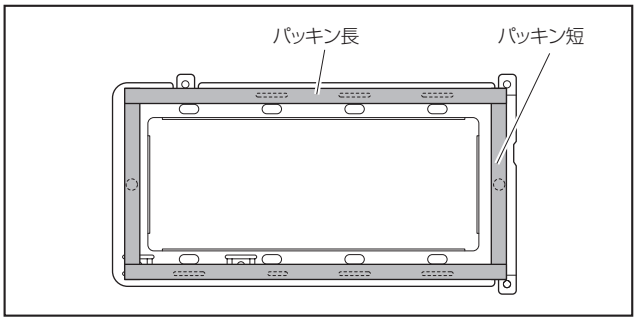


5 取付金具にスペーサー（4 本）およびパッキン長、短（各 2 本）を貼り付ける（気密カバーを使用しない場合）

① スペーサーを貼り付ける

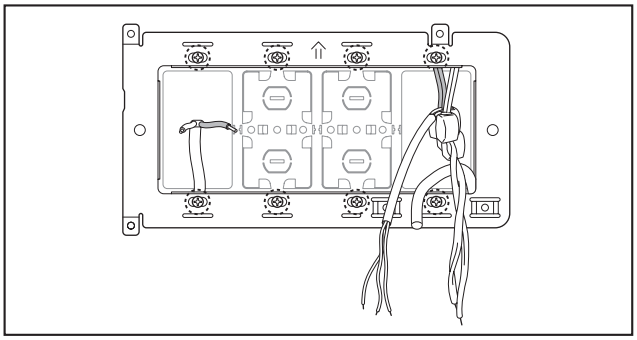


② パッキンをスペーサーの上から貼り付ける

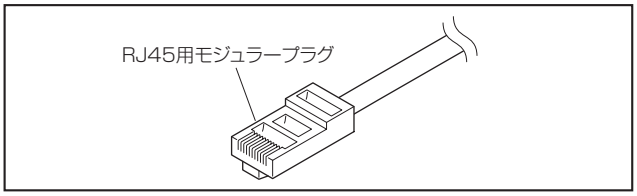


6 取付金具に刻印してある矢印の向きに合わせてから、取付金具を取り付け、トルク 0.39 N･m でビス締め（8 個）する（気密カバーを使用しない場合）

※ ビスは深形スライドボックス (4 ヶ用) 内に取り付いています。

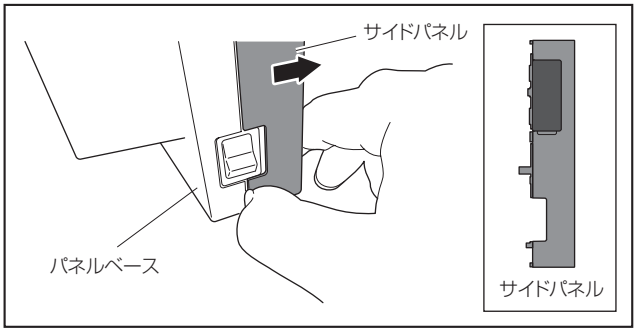


7 LAN ケーブルに RJ45 用モジュラープラグを圧着する

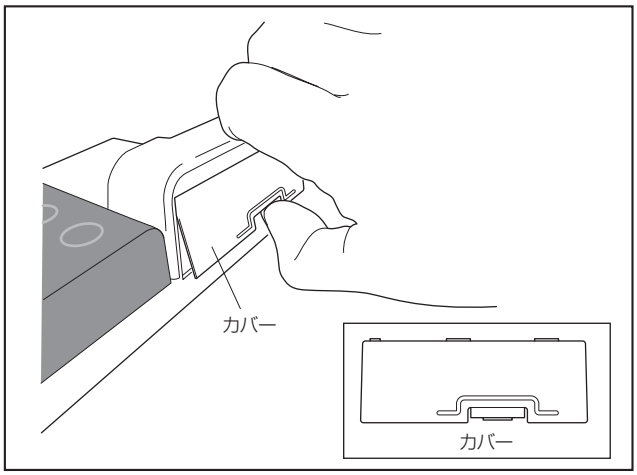


8 アンプのサイドパネル、カバーおよび LAN ラベルを外す

① サイドパネルと白い樹脂（パネルベース）の間の溝に爪を挿し込み、矢印の方向にずらしフックを外す

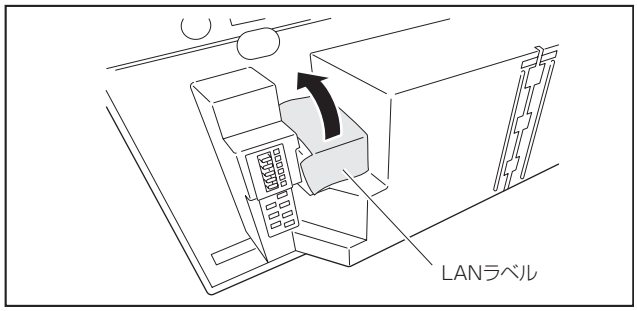


② カバーを外す



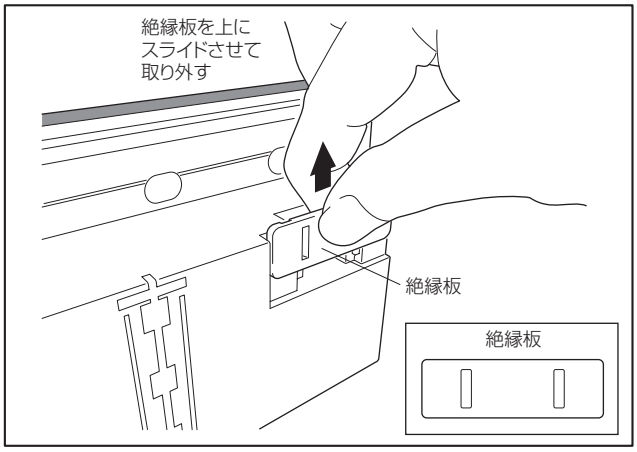
③ LAN ラベルをはがす

※ LAN ラベルは防塵用ラベルのため、RJ45 用モジュラープラグを挿入する直前にはがしてください。



9 絶縁板を処理する

- 深形スライドボックス (4 ヶ用)(品番：SBY-4W、未来工業（株）製) および気密カバー (4 ヶ用)(品番：SBY-4UA、未来工業（株）製) の両方をご使用の場合は、絶縁板は不要ですので取り外してください。
- 深形スライドボックス (4 ヶ用)(品番：SBY-4W、未来工業（株）製) のみの場合、または、はさみ金具の場合など壁面内に充填するグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、絶縁板を取り付けてください。



⑩ セパレータを取り付ける

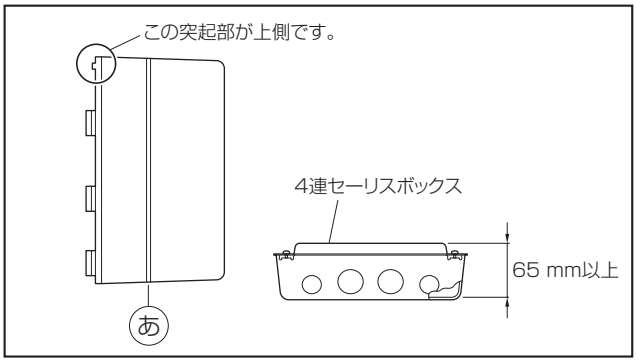
① セパレータをご使用のボックスにあわせて加工する

「あ」でカットする：深形スライドボックス(4ヶ用)(品番:SBY-4W、未来工業（株）製)の場合

カットしない　：JISC8340準拠、4連セーリスボックス（カバー付）ボックス深さが65mm以上の場合

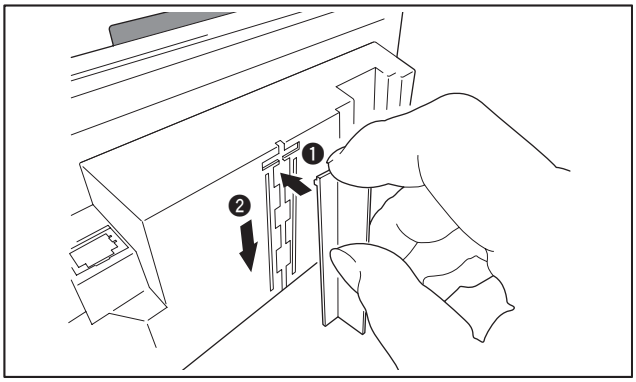
：はさみ金具の場合

※ セパレータの長さに不具合があるときは、施工状況に応じた長さにカットしてご使用ください。



② セパレータを取り付ける

セパレータを穴に合わせ（❶）、そのまま下にずらし（❷）ロックする



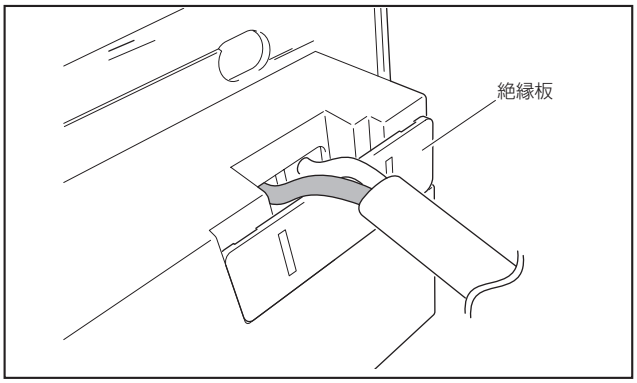
⑪ アンプに線材を差し込み、壁にアンプをビス留めする

- 準備

電源線 VVF ケーブルを引っ張り、施工できるように線長の余裕度を確保する

① 電源線 VVF ケーブルを差し込む

※ 絶縁板が必要な場合は、絶縁板を取り付けます

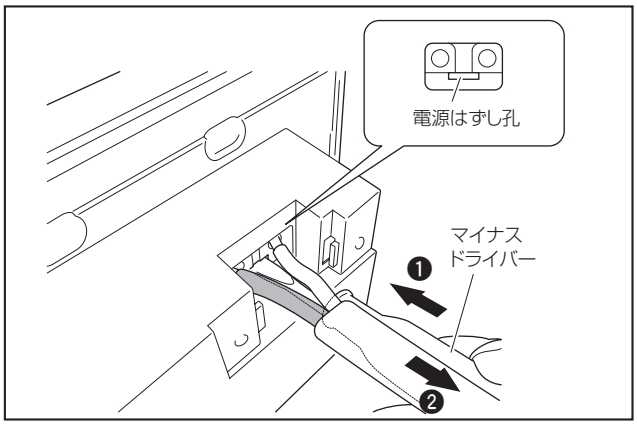


⚠警告

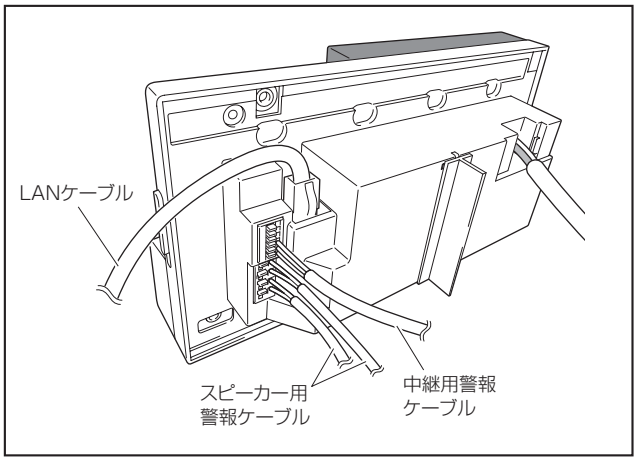
AC100 V 用電源線は確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因となります。
必ず電源（AC100 V）を切った状態で施工する。 活線工事は感電や故障の原因となります。

＜電源線 VVF ケーブルの外しかた＞

電源はずし孔をマイナスドライバーで押しながら電源線を引き抜く



② その他の線材をアンプに差し込む



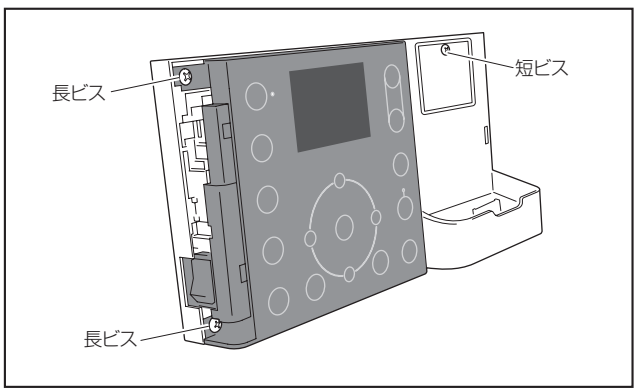
⚠警告

小勢力端子に AC100 V 用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。
AC100 V 用電源線は確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、発熱する恐れがあり、火災や焼損の原因となります。
専用のスピーカー以外を接続しない。

⚠注意

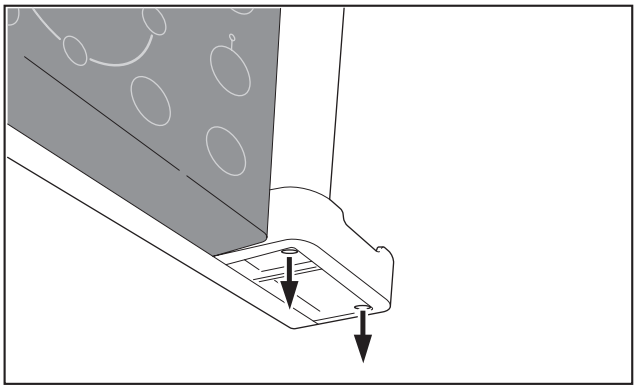
配線は正しく行う。 ショートや誤配線は、火災や機器の故障の原因となります。

③ アンプを深形スライドボックスに入れ込み、付属のビスでビス留め（3 カ所）する。



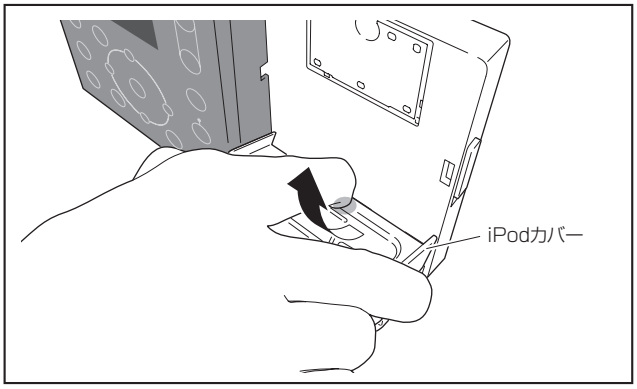
12 壁にアンプをビス留めする

① ビス（2 カ所）を外す

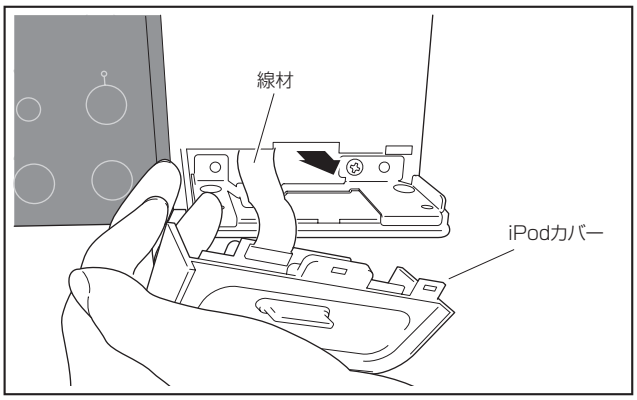


② iPod カバーを外す

● 部を人差し指で押さえながら矢印方向に持ち上げます。



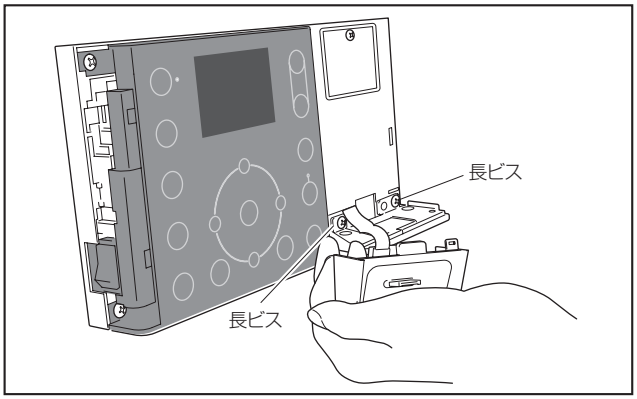
③ 線材が抜けたりしないように注意しながら、iPod カバーを矢印方向に引く



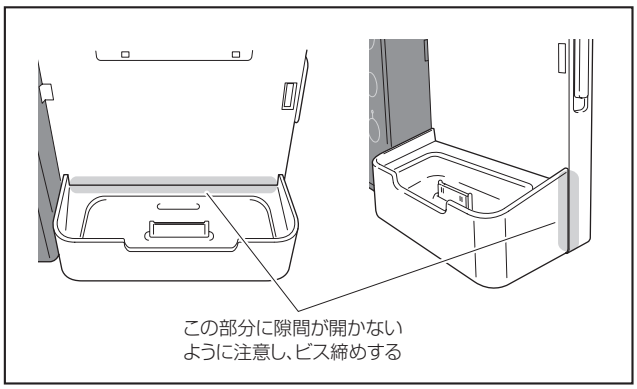
⚠ 注意

基板、線材を傷つけないでください。
故障の原因となります。

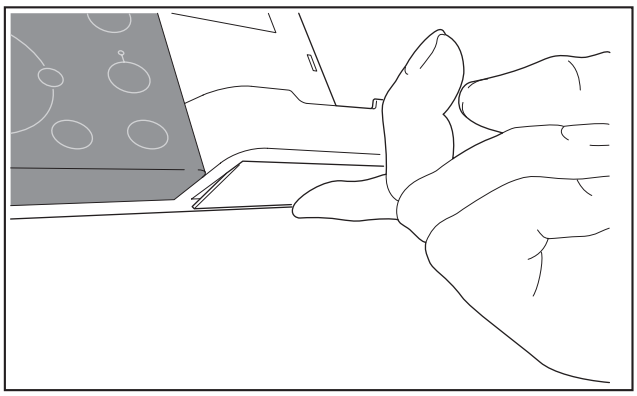
④ 長ビス（2 カ所）で固定する



⑤ 手順 12 の ① で外したビスを使用して iPod カバーを取り付ける

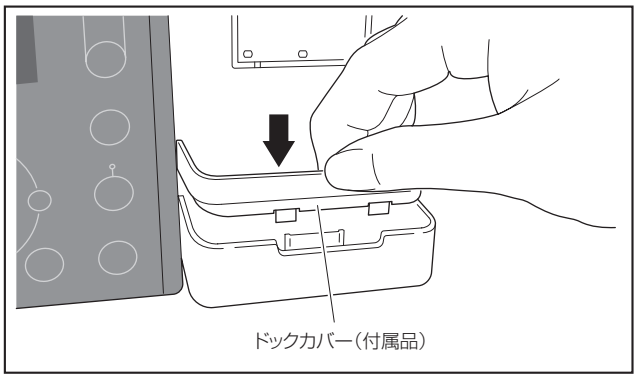


⑥ 手順 8 の ② で外したカバーを取り付ける（カチッと音がするまで）

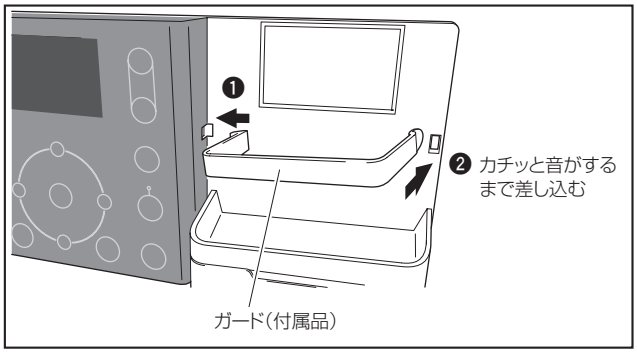


13 ドックカバー、ガードおよびサイドパネルを取り付ける

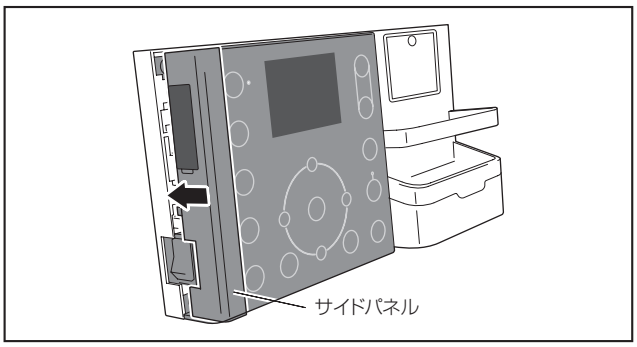
① ドックカバーを取り付ける



② ガード（付属品）を取り付ける



③ サイドパネルを取り付ける
中央のフックを先に挿入します。

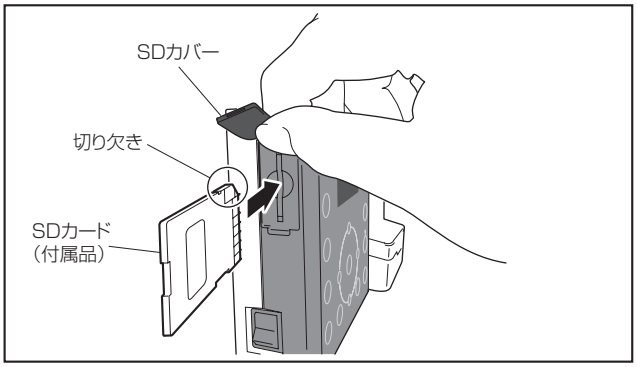


ご注意

- サイドカバーは、浮きがないように最後まで押し込んでください。正確に取り付けないと、サイドカバーが変形する原因となります。

14 SD カードを挿入する
SD カードの挿入は必ず行ってください。

① SD カバーをあけ、SD カードの切り欠きが上になるようにして SD カードをカチッと音がするまで挿入する



② SD カバーを閉める

ご注意

- SD カバーは、浮きがないように最後まで押し込んでください。正確に取り付けないと、SD カバーが変形する原因となります。

⚠ 注意

電源を入れる前に、誤配線、ショートがないことを確認する。
火災・感電の原因となります。

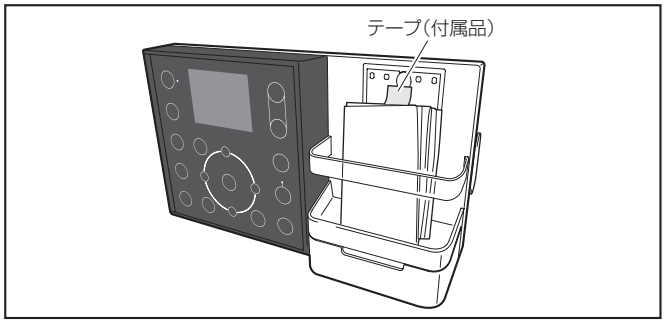
⚠ 警告

万一、異常が発生したら電源スイッチを切る。
切らないと、発熱・火災の原因となります。

施工業者様へのお願い

お客様が初めてお使いのときのために、クイックガイドを付属のテープを使って下図の位置に貼り付けてください。

※ 四角の枠からはみ出さないように貼り付けてください。

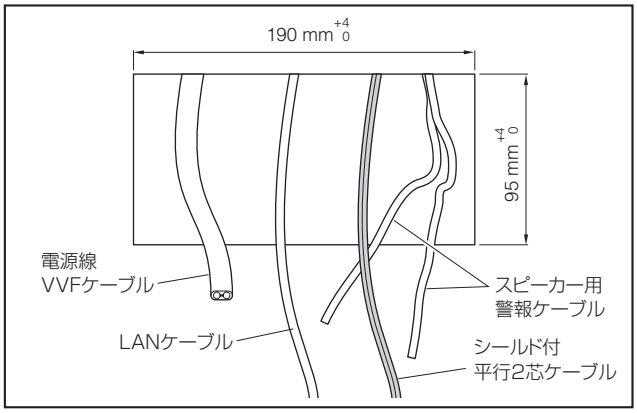


以降は 12 ページの「設置後に必ず行っていただきたいこと」にお進みください。

■はさみ金具（4 連用）（9 mm ～ 30 mm 壁用）（型番：WN3999、パナソニック電工（株）製）をご使用の場合

1 壁に四角い穴をあけ、必要なケーブル類を出す

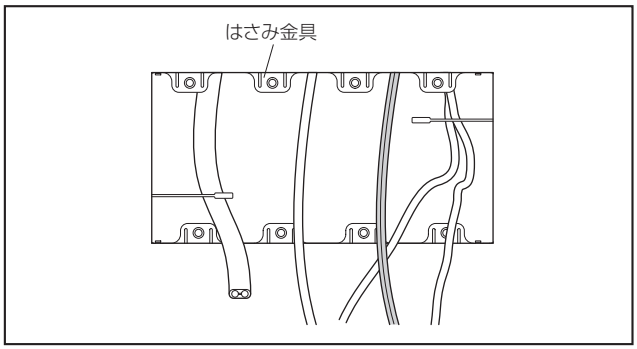
※ 外装箱に印刷されているテンプレートをお使いになると四角い穴の形状を描くことができます。詳しくは 11 ページの「テンプレートの使いかた」をご覧ください。



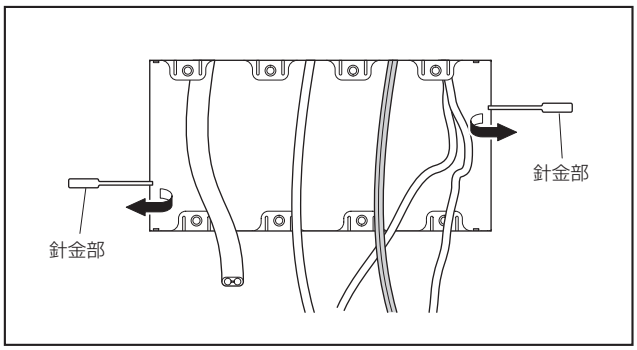
2 はさみ金具および取付金具を取り付ける

① はさみ金具を穴より挿入し、壁に合わせる

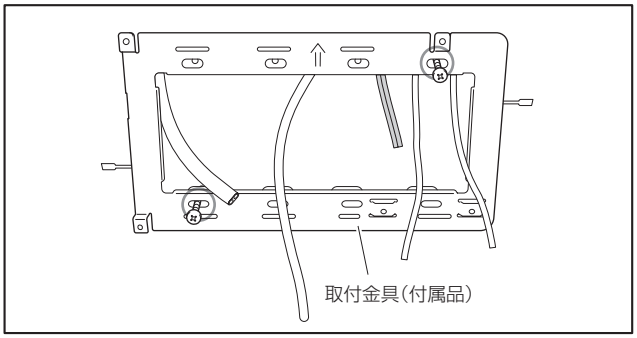
※ はさみ金具（4 連用）（9 ～ 30 mm 壁用）：（パナソニック電工（株）製）
メーカー型番：WN3999（施工業者様別途購入部品）



② はさみ金具の針金部を壁内に曲げ、仮留めする

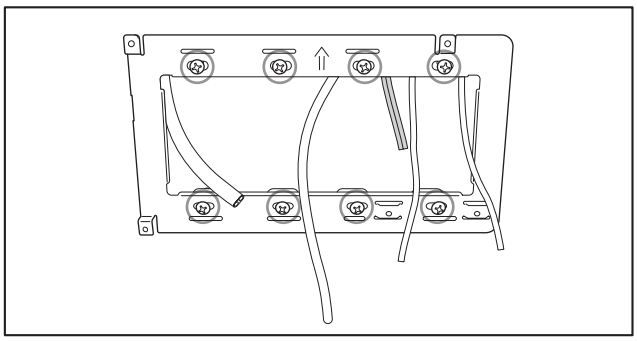


③ 7 ページの手順 5 の処理を行った取付金具を穴に合わせ、はさみ金具の付属ビスで仮締めする（2 カ所）



④ はさみ金具の針金部を壁内に入れ込む

⑤ はさみ金具に付属のビスで、取付金具とはさみ金具を変形させないようにビス締めする（8 カ所）



3 各線材を処理する

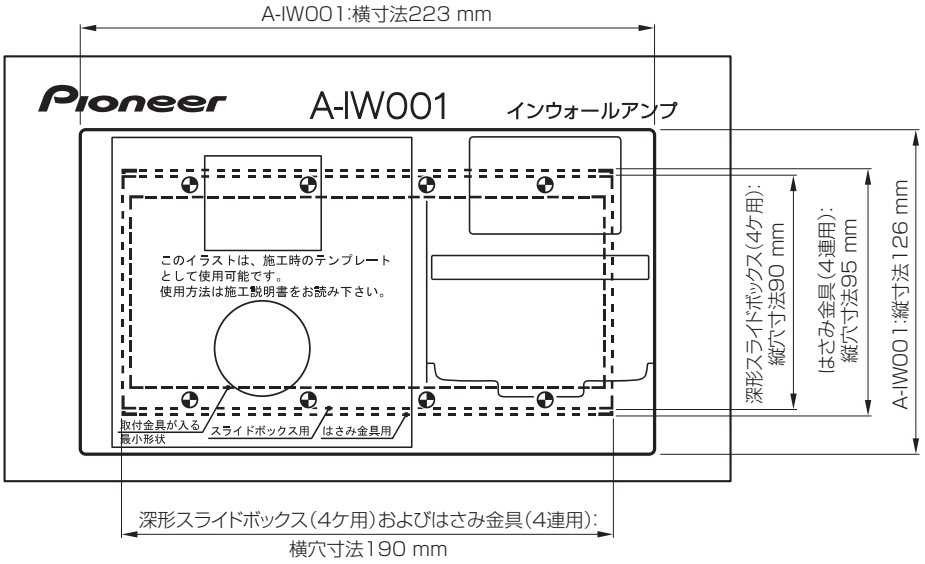
5 ページの手順 3 と同じです。

以降は 7 ページの手順 7 から行ってください。

テンプレートの使いかた

外装箱には、壁にあける穴の寸法などが分かるようテンプレートが印刷されています。必要に応じてお使いください。

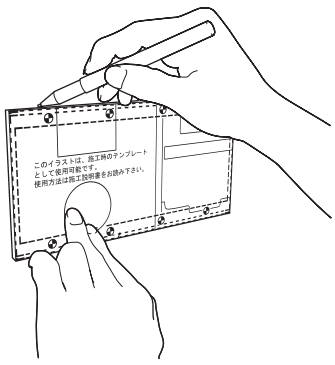
- 本製品（A-IW001）の外形図
- 深形スライドボックス (4 ヶ用)（品番：SBY-4W, 未来工業（株）製）をご使用のとき
- はさみ金具（4 連用）（品番；WN3999、パナソニック電工（株）製）をご使用のとき



① 外枠の太い線（A-IW001 の寸法）を切り取る

② お使いのものに応じて、該当する点線を切り取る

例）深形スライドボックス (4 ヶ用) をご使用のとき、該当する点線を切り取ってテンプレートとして活用する

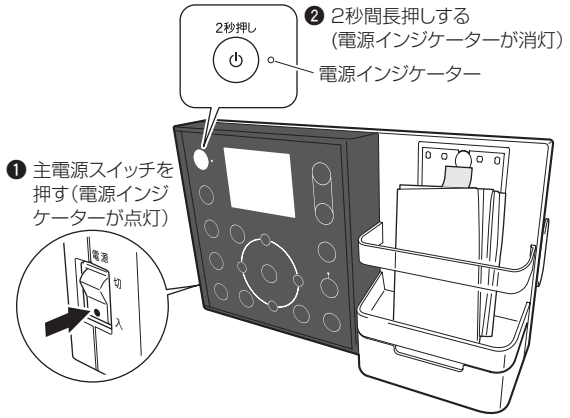


設置後に必ず行っていただきたいこと

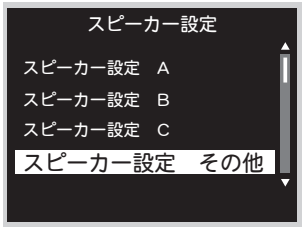
設置後の設定と音だしの確認を行います。アンプとスピーカーの接続がすべて完了してから確認を行ってください。

1 設置後、主電源スイッチを入れたあと、電源ボタンを 2 秒間長押しする

表示部に「Please wait」と表示され、起動が始まります。しばらくお待ちください。



スピーカー設定画面が表示されます。



スピーカーのイコライジング特性を設定します。
(「スピーカー設定 A」は使用しません。)

型番	スピーカー設定
S-ICH125	その他
S-ICH200D（浴室以外に取り付ける場合）	その他
S-ICH200D（浴室に取り付ける場合）	B
S-ICH200	C

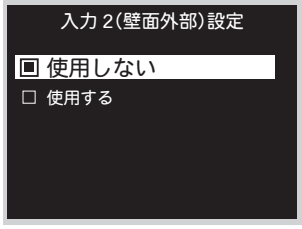
⚠警告

万一、異常が発生したら電源スイッチを切る。
切らないと、発熱・火災の原因となります。

2 本体の▲/▼でスピーカー設定を選び決定を押す

入力 2(壁面外部) 設定画面が表示されます。

3 本体の▲/▼で「使用する」または「使用しない」を選び決定を押す



※ TV 音声信号等(ステレオ)のシールド線を接続した場合は、「使用する」を選びます。

4 音量 +/− を押して音量を「20」まで上げる

環境音が聞こえてきます。

5 本体のスピーカー切換を押し、音声出力するスピーカーを切り換える

1 2	スピーカー 1 のみ
1 2	スピーカー 2 のみ
ST 1 2	スピーカー 1 とスピーカー 2（ステレオ）
1 2	スピーカー 1 とスピーカー 2（モノラル）

6 切り換えたスピーカーから正しく音が出ているか確認する

設定が正しく動作しない場合は、再度配線を確認してください。

7 スピーカー切り換えの設定を「スピーカー 1 とスピーカー 2 (モノラル)」にする

8 本体の電源ボタンを 2 秒間長押しして、電源を切る

設定は以上で完了です。

※ もし設定を間違えたら

① 電源ボタンを押して、電源をオフにする

② 本体の設定と音量 +/− (音量 − ボタン) を同時に約 7 秒長押しし、再起動させる

③ 初めから設定をやり直す

パイオニア株式会社
カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）
受付時間　月曜〜金曜　9:30 〜 18:00
　　土曜　　9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:00
　　（日曜・祝日・弊社休業日は除く）
フリーコール：0120-944-222
一般電話：03-5496-2986 ファックス：03-3490-5718
インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/

R70
古紙パルプ配合率70％再生紙を使用